――――― http://www.jactes.or.jp ―――――――――――――――――――――――――――
一般社団法人教育支援人材認証協会（JACTES）
あそびのタネ通信　VOL. 28　[2017.1.31]

1月末のあそびのタネ通信の内容に修正が生じましたので、再送をさせていただきます。

2017年が始まりはやひと月が経ちました。今年初めてのあそびのタネ通信です。
この1年がみなさまにとって健やかで実り多きものとなりますようお祈りしつつ
『あそびのタネ通信』VOL.28お届けします。最後までどうぞ、お付き合いください。

■INDEX■

（1）イベントのお知らせ
（2）講座のお知らせ
（3）コラム　－中国学園大学　柏原　寛先生－
（4）青少年体験活動奨励制度
（5）更新に関するお知らせ
（6）事務局より

◆（1）イベントのお知らせ　◆

◆平成28年度文部科学省委託事業「体験活動推進プロジェクト」
「青少年の体験活動の評価・顕彰制度に関する調査研究」におけるシンポジウム
『青少年体験活動奨励制度ジュニア版活動と未来像』
日 時:平成29年2月19日(日)13:30～18:00
会 場:東京学芸大学 南講義棟(S棟)4階 大講義室410室
＊小学4年生から中学3年生までを対象とした青少年体験活動奨励制度:ジュニア版の本格施行1年目にあたり、実施状況について広く周知する機会といたします。
青少年の体験活動の重要性や顕彰制度の内容について理解を深め、本制度の幅広い周知を行ってまいります。
参加者、アドバイザー、各種団体の情報交流の場として交流会を設け、持続可能な本制度のあり方について各ステークホルダーからご意見を伺い、本制度の自立化を考える契機といたします。
ご参集いただけますようお願いいたします。
対 象:100名　本制度の推進を担っていただけるステークホルダー
・活動者並びに活動所属団体関係者、アドバイザー(青少年体験活動奨励制度)
・学校関係者(小中学校校長・教員)、教育委員会関係者、地方自治体の放課後子どもプラン等の担当者
・保護者
・当協会認証資格者(こどもサポーター・こどもパートナー・こども支援士)
・教育支援(体験活動)に関心のある企業
・警察(交通少年団)、消防(少年消防団) 等

◇ 構 成

13:30 開会

主催者挨拶 鈴木 聡 東京学芸大学准教授／教育支援人材認証協会理事

文部科学省よりご挨拶

13:45 基調講演『子どもの成長にとっての体験の意味を考える』

演 者　深谷昌志 東京成徳大学名誉教授／青少年体験活動奨励制度委員会委員

14:15 青少年体験活動奨励制度の今年度の活動報告

体験活動を実施した動機、実施上の工夫や問題解決策、実施の手ごたえ、今後の期待や提言 などのご報告

①【奈良教育大学付属中学校裏山クラブ 竹村景生 氏】

里山を生かした20年以上続く部活動を通じたジュニア版の実践と課題

②【東京都町田市立町田第三中学校校長 風間茂 氏】

生徒会活動(美化委員会)による取り組みを通じたジュニア版の実践と課題

③【鹿児島県大島郡天城町立北中学校教頭 塩満貞徳 氏】

天城中学校・天城北中学校、2つの中学校生徒による取り組みとジュニア版の実践と課題

④【栃木県青年会館事業課 橋壁光彦 氏】

財団法人が自主運営している事業の取り組みを通じたジュニア版の実践と課題

15:50 パネルディスカッション『持続可能な制度に向けて』

i)事例報告を受けた問題提起 小森 伸一 東京学芸大学准教授／青少年体験活動奨励制度委員会委員長

ii)パネルディスカッション『持続可能な制度に向けて』

ファシリテーター 杉森伸吉 東京学芸大学教授／青少年体験活動奨励制度委員会委員

16:45～18:00 交流会 401室

・参加者、アドバイザー、実施団体、それぞれの活動についての振り返りと共感の場としていただきます。

＊お問合せは、シンポジウム事務局（東京学芸大こども未来研究所）までお願いいたします。
TEL : 042-312-4112

＊お申し込みは、下記WEBサイトよりお願いいたします。
http://www.u-gakugei.ac.jp/~codomo/jya/
申し込みフォームよりお申し込みできない方は、「シンポジウム参加申し込み」と記載の上、氏名、連絡先を下記までFAXにてお送りください。
FAX : 042-329-7605

◆ 中国学園大学こども学部シンポジウム「絵本のじかん」“あなたにとって絵本とは？”

高校生、大学生、地域の保育者の方を対象に、絵本との多様な関わり方について、岡山県内で活躍されている方をゲストにしたシンポジウムを行います。

日時:2017年3月5日(日) 13:00～15:30 15:30～16:30(ホールでの交流会)
会場:学校法人 中国学園 12号館3階第会議室およびホール (岡山県岡山市北区庭瀬83番地)
定員:300名(入場料無料)
主催:中国学園大学こども学部

共済:中国学園図書館
＊お問合せは、TEL:086 – 293 – 2831 までお願いいたします。
＊お申し込みはWebフォーム www.goo.gl/pUUfDa より、もしくは
「絵本のじかん　参加申し込み」と記載の上、氏名、連絡先を下記FAXへお送りください。
FAX：　086 – 293 – 2854

◆（2）講座のお知らせ　◆

◆ NPO法人東京学芸大こども未来研究所 こどもサポーター講座＜学習支援－ICT教育＞
こどもの貧困や不登校、過疎地域での学習支援の普及を目的とした、タブレット教材を
使用した支援の方法について学ぶ講座です。
日時:2017年2月4日(土),5日(日)
会場:東京学芸大学 C202
監修：森本康彦（東京学芸大学准教授）
ゲスト：中村孝一（NPO 法人 eboard 代表理事）
定員：60 人
受講料：18,000 円（認証料 別途 2,000 円）
問い合わせ：042-312-4112

◆ NPO法人東京学芸大こども未来研究所 こどもパートナー講座 ＜更新者受講可能講座＞
子どもたちをサポートするための基本の知識を学べる「こどもパートナー」講座です。
日時:2017年2月18日(土) 10：00～15：30（開場 9：45）
会場:KO-TO(小金井市梶野町1-2-36)
http://ko-to.info/about/
講師：山田修平（淑徳大学短期大学部講師）
坂本史生（東京福祉大学講師）
定員：40 名
受講料：8,000 円（認証料別途 2,000 円）
問い合わせ：042-312-4112

◆ 聖学院大学 こどもパートナー認証講座
こどもと「関わり合う力」を高め、より良い子育てや地域における教育支援人材として
幅広く活躍するための基礎的な知識を学ぶ講座です。
日時:2017年2月24日(金) 10:00 ～ 16:00
会場:聖学院大学 教授会室(埼玉県上尾市戸崎1-1)
定員:25名
受講料:2,000円(当日ご持参ください)
※認証を希望する方は、別途、認証申請料 2,000 円と印鑑が必要です。
(当日ご持参ください)
申込締切り:2017年2月17日(金)
お申し込み:聖学院大学のホームページの申込フォームより

問い合わせ:聖学院大学 広報センター 048-780-1707

◆ 発達支援(思春期・青年期のこころの理解)講座 NPO法人東京学芸大こども未来研究所
当事者とともに考える思春期・青年期の発達障害等の発達課題を有する子ども・若者の
理解と支援について学ぶ講座です。
日時:2017年3月26日(日) 10:00 ～ 16:00
会場:東京学芸大学 N410教室 (N棟4階)
受講料:無料

◆ こどもパートナー認証講座 in 中国学園 =日程変更=
日時:2017年3月28日(火) (21日から変更されました)
会場:学校法人 中国学園 12号館 (岡山県岡山市北区庭瀬83番地)
☆3月29日(水)のあそびのタネ展 いちご狩りに行こう! の準備講座です。

◆ (3) コラム ◆

本協会にかかわっている先生方からのコラムを毎月お届けいたします。
今回は、中国学園大学の柏原寛先生です。

コラム 「図工は好きだけど苦手...」

先日、学生に小学校での図画工作授業の記憶を辿ってもらいました。ポジティブな意見としては、「楽しかった」、「(いろいろ) 考えてよかった」、「おもしろかった」等、たくさんの意見が出されました。一方でネガティブな意見としては、「難しかった」、「嫌だった」、「大変だった」等、こちらもどんどん出てきました。「結局、図画工作は好き？嫌い？得意？苦手？」と投げかけたところ、半数以上が「好きだけど苦手」という、嬉しくもあり寂しくもある、やや残念な結果となりました。

苦手の理由としては、「(作品を見られるのが) 恥ずかしい」、「上手に描けない (つくれない)」、「失敗したくなかった」等が主なものでしたが、共通しているのは「下手」への恐怖のようです。しかし、図画工作科では「上手にしなければならない」ということは求められていないのです。ここにはいろいろなメカニズムが隠されているように思います。

そのメカニズムのひとつにコミュニケーションがあるように思います。というのも、子どもがはじめてクレヨンを手に取り、赤色でぐるぐると丸を描き「りんご」と言ったならば、どうでしょう。「上手に描けたね～」と言わずにはいられません。この時の「上手」には、「りんごとして伝わったよ」という意味を包含しています。図像として的確に伝達するということで評価するのであれば、写真のような写実性が求められます。一方、例えば (ぐっとこらえて)「りんごのあま～い香りがしてきたよ」と言ってみるとどうでしょうか。もちろんクレヨンからりんごの香りはしないので、このやりとりは的確ではないかもしれません。しかしながら、甘い香りの先には必ずしも写実性が求められるわけではないので、描き方としては多様な可能性が生まれそうです。

人類の芸術文化の大きな流れの中で、いくつかの歴史的転換点がありますが、「印象派」の活動が与えた影響は、現在の私たちにとって小さくありません。その理由のひとつには、写真技術の普及とともに、絵画がそれまでの写実性を離れ、絵画独自の表現を獲得したことが挙げられます。絵筆のタッチを残して

表現することや、色鮮やかな影など、写実性から解放され、表現の幅がぐっと広がりました。それは、キュビズムのような実際の形とは異なる形で人体を表現するといった表現にまでつながりました。
現在の表現芸術の多様性を生み出したと言っても言い過ぎではないと思います。
　最近は、「上手」を乗り越えた、“印象派的な声がけ”ができると良いなぁと思いながら試行錯誤しています。

中国学園大学子ども学部子ども学科　造形・デザイン教育　准教授　柏原寛
子どもと造形、図画工作などの授業を担当

◆（4）平成 28 年度 青少年体験活動奨励制度　◆

★青少年体験活動奨励制度へご参加のみなさま、アドバイザーのみなさま★

本年度の青少年体験活動にご参加くださりありがとうございました。
表彰式は、平成 29 年 3 月 13 日（月）16 時より文部科学省にて開催いたします。
活動を終えられた皆さま、支えてくださったアドバイザーの皆さまに、ぜひ
ご出席いただければ幸いです。
ご案内については、追ってご連絡申し上げます。
ご質問や気がかりな点がございましたら、お気軽に JACTES 事務局へご相談ください。

＜東日本ブランチ事務局＞（本部事務局）一般社団法人 教育支援人材認証協会：JACTES
042―329―7605(TEL&FAX) info@japan-youth-award.net

◆（5）更新に関するお知らせ　◆

2016 年 3 月末の更新対象者の方の更新手続きを終了いたしました。
更新のお手続きをして下さった皆様、ありがとうございました。
更新関連書類に同封いたしました「無料受講チケット」にて受講いただける講座に
「NPO法人東京学芸大こども未来研究所 こどもパートナー講座 」
日時:2017年2月18日(土) 10：00～15：30（開場 9：45）
が追加されました。
詳細は(2)講座のお知らせに記載しました。ご興味のある方は是非ご受講ください。

来年度に更新を迎える方々へは更新時期が近づきましたら“更新のご案内”を郵送させて頂きます。

※お心当たりの方で更新案内がお手元に届いてない方は、お手数ですが JACTES 事務局までお問合せください。
※また、ご不明な点や疑問点などございましたら、お気軽にお問合せください。

◆（6）事務局より◆

先日湯島天満宮(湯島天神)へ行ってまいりました。平日でしたがなかなかの人出、お守りを求める長蛇の列ができておりました。絵馬もたくさんかけられており、受験生の皆様の本気度がどの絵馬にも表れておりました。この時期は毎年進路を決める方々の勝負の時期。インフルエンザの猛威に負けることなく、自分の力を出し切って満足のいく結果を得ていただきたいと願います。桜咲く春を笑顔で迎えられます様に心よりお祈りしております。

2017年もスタートしました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人　教育支援人材認証協会　事務局
東京都小金井市貫井北町4-1-1　東京学芸大学内
TEL&FAX : 042 - 329 - 7605
E-mail : info@jactes.or.jp
URL : www.jactes.or.jp
Facebook : https://www.facebook.com/jactes
